

## ボルグワーナー、エネクソー・バイオエネルギー社に出資で サステナビリティビジネスを拡大

- 出資によりボルグワーナーの二酸化炭素排出量削減への取り組みを後押し
- クリーンでエネルギー効率の高い世界を実現、というボルグワーナーが目指すビジョンを補完
- シリーズA 投資額 1,000 万ドル

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー（本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：フレデリック・リサルド/Frédéric B.Lissalde）は、世界の有機廃棄物やプラスチック廃棄物の問題解決を支援するため、現場における再生可能エネルギーおよび炭素転換率に関するソリューションを提供するエネクソー・バイオエネルギー社（以下、エネクソー社）への出資を決定しました。これによりサステナビリティビジネスの幅を広げることになります。ボルグワーナーは 1,000 万ドルを出資し、同社の少数株式を取得しました。

エネクソー社のモジュール式 Bio-CHP™システムは特許取得済みです。同システムは、地元で調達された有機物またはプラスチック廃棄物を使用し、クリーンなエネルギーを当地で生成します。また、どのような現場にも迅速に設置可能です。エネクソー社によると、CO2 換算で年間最大 1,000（メートル）トンをつつのシステムで削減できます。内訳は、埋め立て地から放出されるメタン排出量の削減、化石燃料による発電で発生する CO2 のオフセット、および廃棄物の輸送時に発生する排出量の削減です。

エネクソー社の廃棄物再利用ソリューションは、廃熱を利用して電気エネルギーを生成するボルグワーナー既存の eTurbine 製品ラインナップ、およびボルグワーナーの完全子会社であるカスカディア・モーションが提供する産業用インバーターとの相性がよく、効果的に活用されています。さらなる CO2 削減技術やバッテリーパック供給といった、将来における協業の可能性を両社で模索しています。

A シリーズの主要な投資家となるボルグワーナーの出資は、スタートアップのエネクソー社が再生可能エネルギーおよび炭素転換率に関するソリューションを着実に商業化するのに役立ちます。

クリーンでエネルギー効率の高い世界を実現する、中心的な推進者としての地位を確立すべく、ボルグワーナーはテクノロジーのポートフォリオや新規事業への参入を近年、大幅に拡大しています。ボルグワーナーの持続可能性活動の詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) でご覧ください。

気候変動と戦うために必需の再生可能エネルギーに関する効果的なソリューションを提供するトップ企業として世界中で急速に認知度を高めているエネクソー社は、注目すべき年にシリーズ A の資金調達を得ることになりました。中でも特筆すべきが、2021 年に、グーグル・フォー・スタートアップ・アクセラレータ: 気候変動 (Google for Startups Accelerator: Climate Change, NASDAQ: GOOGL)、およびハリバートン (Halliburton) 社 (NYSE: HAL) のクリーンエネルギー・アクセラレーターであるハリバートン・ラブス (HalliburtonLabs) の両社に対象企業として選定されたことです。さらに、138 か国以上、10,000 人の応募者のあった国連世界観光機関 (UNWTO) の「SDGs グローバル・スタートアップ・コンペティション」でエネクソー社が部門賞を獲得しました。

エネクソー社の創設者兼 CEO であるリー・ジェスティングス氏 (Lee Jestings) は、「エネクソー社では、今の世代が去った後も、何世代にもわたり人類がより良い環境の中で生活できるよう、後世に残るものを技術革新を通じて実現したいとの熱意を社員全員が共有しています。同じ熱意を共有し、同様のミッションを掲げるボルグワーナーのような会社が、私たちの会社にも多額の出資をして頂いたことに大変感謝しています。このパートナーシップは、両社にとっても、そしてさらに重要なことは、世界にとっても実り多いものになると思います」と述べています。

ボルグワーナーの副社長で、エミッション/サーマル/ターボ・システムズ社の社長兼事業本部長のジョー・ファドール (Joe Fadool) は、「私たちはエネクソーチームのこだわりとエコに対するビジョンに感銘を受けております。当社は 2035 年までにカーボンニュートラルを達成するというコミットメントを掲げ、それを実現する一環として豊富なテクノロジーのポートフォリオをすでに用意しており、様々な実績もあります。今回の出資は、こういった当社の姿勢の延長線上にあると考えています。私たちはエネクソー社との協業に大きなチャンスを見出しており、当社の投資でもある、エネクソー社が提供する様々なソリューションが、再生可能エネルギー発電の将来や地球全体の CO2 排出量に与える影響についておおいに期待しています」と述べています。

### **エネクソー・バイオエネルギー社 (Enexor BioEnergy) について**

エネクソー・バイオエネルギー社は、現場における再生可能エネルギーと炭素転換率に関するソリューションを提供します。これは世界の有機廃棄物とプラスチック廃棄物の問題解決に役立ちます。エネクソー社の特許取得済みのバイオエネルギー・システムは、世界中の施設やマイクログリッドに 24 時間、年中無休の電力と熱エネルギーを連続して生成することにより、有機廃棄物とプラスチック廃棄物から新たな価値を生み出します。Bio-CHP システムは、20 フィートのカスタム輸送コンテナに収められており、米国の小売店であれ、カリブ海のハリケーンにさらされた地域であれ、またはアフリカの村であれ、隣接して配備可能なように設計されています。エネクソー社は、テネシー州フランクリンのナッシュビル郊外にある本社で同システムを製造しています。詳細については、[www.enexor.com](http://www.enexor.com) をご覧ください。

### **ボルグワーナーについて**

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフター

マーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 23 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2020 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジー社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、2021 年 6 月 4 日に完了した AKASOL AG の買収による期待された利益が実現しないこと、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の不実現、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

#### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp